

作成日	COMIT	発行
2022. 11. 1 No.329		株式会社秋山製作所 企画・デザイン室

DIYブーム！！

かつて日曜大工と呼ばれた趣味は、今では「DIY」と呼ばれ、幅広い世代に親しまれています。ここ最近の火付け役となったのはテレビ番組ですが、DIY流行の兆しは 2010 年半ばには表れていました。現在では、ホームセンターだけではなく、住宅業界にもブームは広がって来てます。

「DIY」という単語は、「Do it yourself」の略語だそうです。直訳すると「自分自身でやる」という意味になりますが、その語源はロンドン大空襲の際、街の復興を願い生まれた言葉だそうです。市民が「自分で出来る事は自分でしよう」という理念の下、街の再建に行動したと言われていました。ただ、日本では大多数の人が自分で行う物づくり意味でとらえていると思います。ブームは何かきっかけで火がつくかはわかりませんが、その流れに乗ってみるのも新しい発見があると思います。

そんな中、今回ご紹介する新製品はその「DIYブーム」をテーマにしたスタンプピンです。これからのシーズンジャケットを羽織る機会が増えると思います。是非襟元のワンポイントのおしゃれにお使いください。スタイリッシュなデザインの中に、遊び心を兼ね備えたアイテムに仕上がりました。当社スタッフが自信を持っておすすめしますので、是非お試しください！(Y.M)

当社男性スタッフ押しの商品です！！

電動式ドリル



B6454

ハンマー



B6455

土ドライバー



B6456

スパナ&モンキー



B6457

富士山登山鉄道

2013 年に世界遺産に登録された日本のランドマークである富士山。現在、この富士山に「富士山登山鉄道」を整備する構想が進められています。

富士山登山鉄道は、富士山のふもとから 5 合目までを繋ぐ鉄道で、現在の富士スバルライン上に作られる予定です。上りは約 50 分、下りは約 70 分で移動が可能になります。

富士山登山鉄道整備の一番の目的は環境対策。実は富士山はこれまで観光客による混雑や渋滞、それに伴う環境悪化が問題視されてきました。また、5 合目までを通行する車の CO2 排出量が 2012 年から 2018 年にかけて約 1.6 倍にまで増加しているという点も課題となっていました。富士山登山鉄道の整備は、これらの問題を解消する糸口になるのではないかと期待されています。

富士山登山鉄道はまだ構想段階で、現在でも環境への影響などが議論されています。鉄道整備が実現した際には、ぜひ利用してみてください。(M.H)



セルフ写真館

近年「セルフ写真館」が流行しているのをご存じでしょうか。その名の通り、自分達の手でシャッターを押して写真撮影ができる施設のことです。

この流行の基になっているのは韓国の文化。韓国では家族や友人同士で写真館での撮影を楽しむ文化があるそうです。これが近年の韓国ブームに伴い日本にも輸入されました。これまで若者にはプリクラのような綺麗に加工が施される写真が人気でしたが、自然体の表情や雰囲気撮影できるセルフ写真が新鮮だと注目が集まっています。

若者が流行の火付け役であるセルフ写真館ですが、家族写真や親子写真の撮影に利用する方も増加中。通常のフォトスタジオでは多くのスタッフに囲まれての撮影になりますが、セルフ写真館は自分達だけの空間で撮影ができます。

そのため小さいお子さんでも安心感を持って落ち着いて撮影できるようです。11 月と言えば七五三。記念撮影にセルフ写真館を利用してみてはいかがでしょうか。(M.H)

